

演題名	コスト削減・電気使用量を減らすための取り組み		
施設名	喬成会 花川病院	(ふりがな) 発表者(職種)	(ばん さちえ) 伴 幸恵(総務)
(ふりがな) チーム名	(いっばーせんとのどりよく) 1%の努力		
分類	④無駄の削減や能率向上、業務環境の改善をめざすもの		
取り組み種別	問題解決型		
改善しようとした 問題課題	コロナ渦や世界情勢の変化で様々な物の値上がり。当院の電気料金が年間1600万円の値上がりを予測したことから院内の電気使用量の見直しをする取り組みを行った。		
改善の指標と その目標値	(指 標)花川病院の電気使用量の下期前年同月比平均の割合 (目標値)実施する対策で見込める削減電氣量に相当する下期前年同月比平均-1%		
実施した対策	①エアコン設定を一定に保つよう周知、張り紙、パッケージエアコンの使用制限 ②蛍光灯からLEDに交換、 ③PCを閉じるようPCにテプラを貼る		
改善指標の 対策実施 前後の変化	(実施前)前年同月比 (実施後)毎月924KWの削減、下期平均-16.3%削減		
歯止めと 標準化	【標準化】節電事項を意識する 【管理】月の電気使用量を掲示する 【管理】PC・TVの消し忘れがないかラウンドしチェックする 【教育】節電事項を新入職員にも説明をする		
活動の種類 ※複数選択可	④組織全体で取り組んだ活動	チーム メンバー (職種)	1 下道 正幸 医師
活動の場 ※複数選択可	④その他		2 井口 大暢 医師
活動期間	2023年10月～2024年3月		3 門脇 洋介 リハビリ
リーダー名 (職種)	伴 幸恵(総務)		4 片桐 晴香 看護師
活動回数	5 回		5 大類 真弓 MSW
			6 長尾 将史 施設管理
			7 伴 幸恵 総務
			8
			9
			10
			11
			12
			13

## 現状把握①

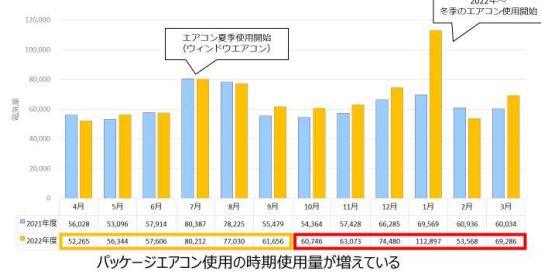
### 2021~2022年の電気料金

最大料金は2,913,583円



## 現状把握②

### 2021~2022年の電気使用量

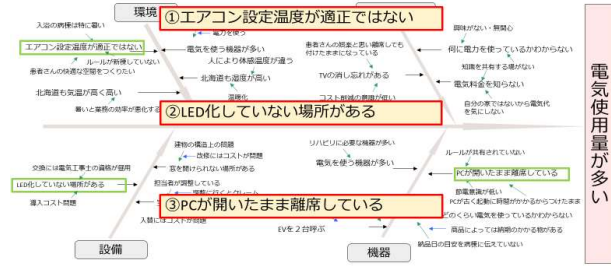


## 目標設定

当院のコスト削減のために

何を	・電気使用量を
いつまでに	・2023年度下期平均
どうする	・前年より1%削減する

## 要因の解析



## 要因の解析 重要要因の検証・真の要因の判定

重要要因	検証方法	結果からわかった事	判定
① エアコン設定温度が適正ではない	施設管理にて確認	施設管理者以外が自由に温度設定を変えているため設定温度の適正がわからない状態。急激な温度設定で使用電力が増す。	真の要因
② LED化していない場所がある	施設管理にて確認	各病棟ダウンライトのLED化が進んでいない	真の要因
③ PCが開いたまま離席している	モニター病棟にて離席中のPCが何台開いているか調査	上期も同様に対策をしたが、まだ離席中の13台がPCを開いている	真の要因

## 対策の立案

評価点数(○:5点 △:3点 ×:1点)

重要要因	一次対策	二次対策	三次対策	達成	実行	効果	評価
エアコン設定温度を適正にする	エアコン設定温度を適正に設定する	エアコン操作盤に張り紙をする	施設管理・設備から病棟へ伝達する	○	○	○	15 採用
LED化していない場所がある	蛍光灯からLEDに交換する	寿命がきたダウンライトを随時蛍光灯からLEDに交換する		○	○	○	15 採用
PCが開いたまま離席している	PCを閉じるようPC本体にテプラで案内を貼りミルフィーユ、メールでの周知	PCを閉じているか確認する		○	○	○	15 採用

## 対策の実施

実施項目	誰が	いつ	どこで	何故	どのように
① エアコン設定を一定に保つよう管理する	岸長尾	3月末迄	院内全体で	急激な温度設定変更による使用電力増加を防ぐため	エアコン設定を一定に保ち外気温によって操作するスタッフを限定し管理する
② 蛍光灯からLEDに交換する	長尾大類	3月末迄	院内全体で	使用電力を減らすため	可能な箇所をLED化する
③ PCを閉じているか確認する	門脇片桐	3月末迄	スタッフルームで	使用電力を減らすため	PCを閉じているか確認する

## 対策の実施①

エアコン設定を一定に保つよう周知する

① 操作盤への張り紙

院内15箇所40枚のエアコン操作盤に貼付

② エアコン操作を管理職だけにするよう周知

③ 病室で電気使用量の少ないストープで効率よく病室温度を上げる

↓

冬期間病棟エアコンを使用しない

## 対策の実施②

蛍光灯からLEDに交換する

新棟廊下2階3階5階  
ダウンライトLED化 42台

現行消費電力 (w) 78W

42台×78W×15時間×31日 = 1527KW



※部屋施設管理職員が交換することでコスト削減

## 対策の実施③

PCを閉じているか確認する

① 病棟・リハスタッフ声掛けを実施

リハビリスタッフ使用のPCにて検証実施  
周知前 185台中13台のPCが開いたまま

13台×15W×7時間×31日 = 42KW

② PC本体にテプラを掲示

リハビリ・看護部使用のPC185台に貼付

離席の際はPCを閉じましょう!

## 効果の確認①

- ①エアコン設定を一定に保つよう周知
1. エアコン操作を管理職だけがするよう周知
  2. 病室で電気使用量の少ないストープで効率よく病室温度を上げる
  3. 冬期間病棟エアコンを使用しない日を設けることができた。

パッケージエアコンのデータがなく電気使用量を算出できないが2月の使用量が昨年より45,000KW削減

②～③の対策により

②蛍光灯からLEDに交換する

各病棟新棟のLED化 42台  
 現行消費電力(w) 78W  
 ↓  
 更新後消費電力(w) 32W

1日15時間  
 使用で  
 月898KW  
 削減

③ PCを閉じているか確認する

13台×15W×7時間×31日=42KW  
 ↓  
 8台×15W×7時間×31日=26KW

1日7時間  
 使用で  
 月26KW  
 削減

毎月924KW削減

## 効果の確認

目標：電気使用量を 2023年度下期平均 前年より1%削減する

2022年度下期	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期平均
2022年度下期 電気使用量	61,656					53,568	71,070
目標値 (前年1%)	61,039					53,032	70,359
2023年度下期	65,730	49,650	56,915	58,459	66,968	59,068	59,465

目標達成!

対策①～③で  
 下期平均16.3%削減に成功!

## 結果①

### 2022年度・2023年度の電気料金

2022年度下期最大料金は2,913,583円

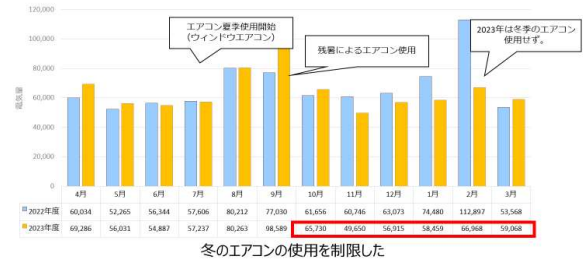
2023年度下期最大料金は1,781,844円

113万円削減



## 結果②

### 2022年度・2023年度の電気使用量



冬のエアコンの使用を制限した

## 結果③

### 1月の気温 (2023年、2024年)



2024年の冬比較的確かった

### 2月の気温 (2023年、2024年)



## 無形効果・波及効果

### 【無形効果】

- ・ 職員の節電意識が高まった。
- ・ 電気料金への知識が高まった。
- ・ 他部署との意見交換でコミュニケーションが深まった。

### 【波及効果】

- ・ 取り組みしなかった箇所でも節電するようになった。
- ・ 環境や施設について興味を持つきっかけとなった。

## 標準化と管理の定着

	何を	なぜ	誰が	いつ	どこで	どうする
標準化	節電事項を	節電を行うために	職員全員が	日々の業務中に	院内で	意識する
管理	月の電気使用量表を	節電意識を継続するために	総務課が	毎月	院内で	掲示をする
	PC消し忘れを	節電を行うために	看護部が	月に一度	申送り	声掛ける
教育	節電事項を	新入職員も同じ意識をもてるように	所属部署の教育担当が	日々の業務中に	院内で	説明する

## 反省点と今後の課題

	反省点	反省点・今後の課題
テーマ選定	電気使用量について考えるきっかけとなり、病院全体で取り組めるテーマを選定できた。	なし
現状把握	電気使用量だけではなくデマンドや金額、電気料金の仕組みを把握することができた。	電気使用の内訳がわかると良いと感じた。
目標設定	多職種で取り組める目標となった。	なし
対策立案・実施	特定の部署への対策ではなく、全職員に関わる内容を選択し対策をとることができた。	もっと細かな対策も提案したいと感じた。
効果の確認	夏と冬のエアコンの使用方法を見直すことができた。	対策実施後、メンバーで集まってる活動が少なかった。
標準化と管理の定着	すぐできる節電についてやるべきことが明確になった。	確実に実施できるように周知をしていく。